

大阪府市場だより



第370号 令和4年12月27日
 発行 大阪府中央卸売市場協会 (茨木市宮島1-1-1 水産棟3階)
 連絡先 TEL:(072)636-3698、FAX:3699、メール:office@fu-ichiba.jp
 U R L https://fu-ichiba.jp



常駐代表者会議

標記会議(三木博司議長)が、12月15日の朝7時55分より、管理棟7階において開催されました。

議事概要は、次のとおりです。

■府からの報告

○令和4年度の取扱高
 前年度同月比較で、市場全体の取扱高は金額ベースで約10.6億円、1.9%の増加、

直接集荷は金額ベースで約2.5億円、3.0%の増加。
 ○令和3年度の決算
 12月2日に府議会認定。事業収益約7億2028万円、事業費用約6億8851万円、純利益約3177万円、繰越欠損金約137億3748万円。

○電気代高騰対策
 特別高圧を受電する全国20市場が国の電気料金激変緩和事業の対象に含まれるよう全国中央卸売市場協会から農水・経産大臣に要望。
 ○再整備基本計画の策定
 計画のたたき台に係る説明会を1月中旬に開催できるよう調整中。

■管理からの報告

○活性化事業

★ハード事業
 ・管理棟前交差点東側車両感知遮断機設置工事(電気工事は完成、遮断機は2月上旬に設置予定)。
 ・正門・東門での看板設置
 「市場内通り抜け禁止」「入場許可証」拜見」という看板を設置。

○禁煙シールの増設

市場内の壁・柱等約360か所に順次貼付予定。

○ごみ分別看板の設置

ごみ分別看板を集積場に設置予定、ごみ分別チラシを配布予定。

★ソフト事業

・府健康づくりアワード
 協賛企業として管理から受賞者に副賞を授与(1/19)。

・産地&大学連携

梅花女子大学食文化学部管理栄養学科の学生による市場関係者向けミニ講座(3月予定)。

・民間連携

「家族で学ぶ防災教室」

地域ぐるみで防災意識を高めるため「防災についての講義」と「防災クッキング」(2/11)。協力：大阪マツダとく株、箕面市、NPO法人市民活動フォーラムのおお、管理

・市場見学

おとのは学園・鮎川保育園の園児40名(2月予定)。

○維持補修事業

12月14日現在で166件、約4155万円の事業を実施。

・主要事業

水産仲卸軒下通り側重量シャッターボックス塗装。

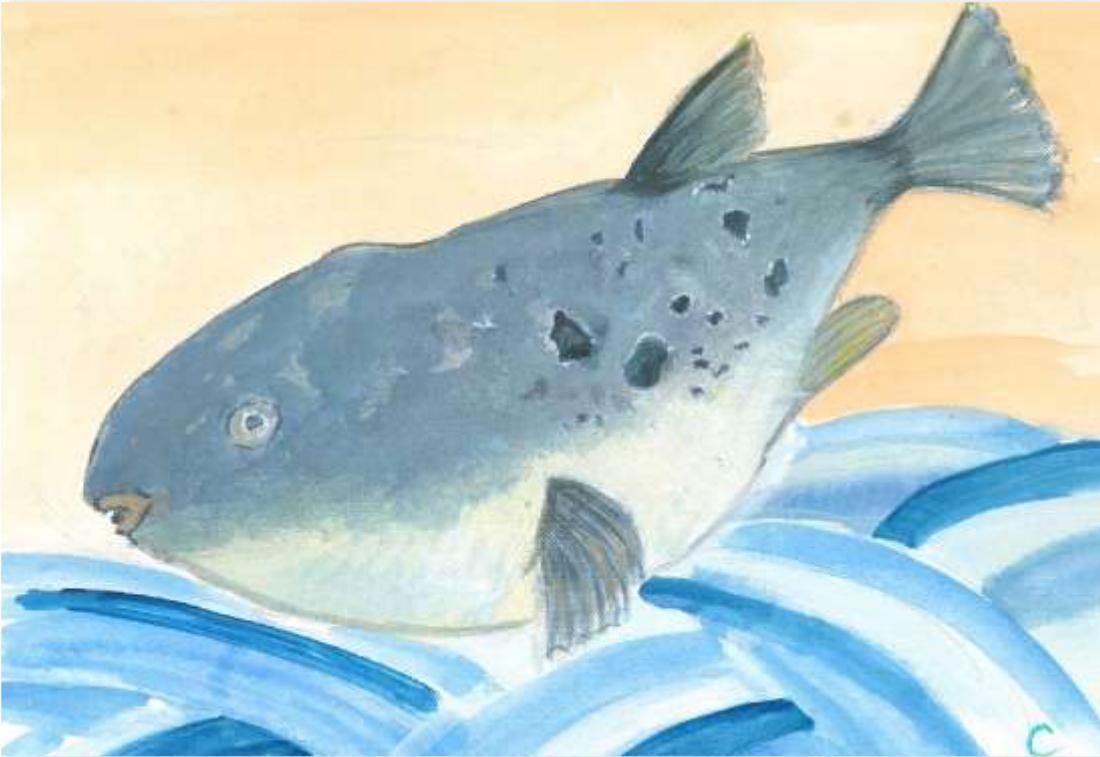
○府依頼事業

・青果棟屋上防水改修工事
 ・水産仲卸B棟低圧共用幹線設備改修工事
 1月上旬に着工予定。

○ごみ関連

・不法投棄
 11月は7件で、対策開始前に比べて94.7%の減少。

絵:「フグ」



出店場所：管理棟前駐車場 1月

キッチンカースケジュール

諸事情により、日程変更、中止させて頂く場合がございます。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

A 11:00~14:00
大阪たこ焼き本舗まる
たこ焼き

B 11:00~16:00
Rabbit's Crepe
クレープ

C 11:00~15:00
KENTOKU KITCHEN
ハンバーガー

D 10:00~15:00
3Rマジック
カレーからあげポテト



福岡市場の視察

11月29・30日に、青果卸売協同組合と管理センターの18名が2班にわかれて、青果・西部・東部の3市場を移転統合し、平成28年2月に開場した福岡市の青果市場を視察しました。

当市場の建替え再整備に向け、多くの知見を得ることができました。

福岡市場の視察

※このコンペティションは、若者自身が食・農・地域・協同組合などのテーマと真面目に向き合うもので、全国から27大学、17ゼミナール、50チームが参加しています。

アグコン最優秀賞を受賞しました。

11月27日開催の「アグリカルチャーコンペティション2022」(主催：日大商学部、協賛：JA全中)で、大阪成蹊大学と当市場の連携事業「PBL有機野菜の販売」の2年間の成果をまとめた「#おしやアグ」が最優秀賞を受賞しました。

アグコン最優秀賞

- 水産新年互礼会
1月5日4時40分より、せの場で開催されます。
- 常駐代表者会議
協会主催の新年互礼会にかえて1月5日8時より管理棟で開催されます。
- 十日戎祭りの宝恵籠練の歩き
1月11日9時50分より管理棟から出発します。
- 防災訓練
1月17日前後に情報伝達訓練が実施されます。

来月のお知らせ

- 再整備基本計画
たたき台の説明会の開催が検討されています。
- 安全運転講習会
1月20日午前11時より管理棟で開催します。

大阪府新型コロナウイルス対策本部会議からの要請
(令和4年11月9日から当面の間)

- 【府民の皆様へ】
- 感染防止対策(3密の回避、マスク着用、手洗い、こまめな換気等)の徹底
 - 早期のワクチン接種(こどものワクチン接種を含む)を検討すること
 - 新型コロナウイルスと季節性インフルエンザとの同時流行に備え、高齢者等はインフルエンザワクチン接種を検討すること
 - 高齢者の命と健康を守るため、高齢者及び同居家族等日常的に接する方は、感染リスクが高い場所への外出・移動を控えること
 - 高齢者施設での面会時は、感染防止対策を徹底すること
 - 感染対策が徹底されていない飲食店等の利用を控えること
 - 旅行等、都道府県間の移動は、感染防止対策を徹底するとともに移動先での感染リスクの高い行動を控えること
 - 高齢者の同居家族が感染した場合、高齢者の命を守るため、感染対策が取れない方は積極的に宿泊療養施設において療養すること
 - 会食を行う際は、以下のルールを遵守すること
・ゴールドステッカー認証店舗を推奨 ・マスク会食の徹底

- 【企業の皆様へ】
- 早期のワクチン接種を検討するよう周知徹底すること
 - 療養証明・陰性証明の提出を求めないよう周知徹底すること
 - 在宅勤務(テレワーク)の活用、時差出勤、自転車通勤等、人との接触を低減する取組みを進めること
 - 休憩室、喫煙所、更衣室などでマスクを外した会話を控えること
 - 高齢者や基礎疾患を有する方等、重症化リスクのある従業者、妊娠している従業者、同居家族に該当者がいる従業者について、テレワークや時差出勤等の配慮を行うこと
 - 業種別ガイドラインを遵守すること

安全運転講習会

日時：令和5年1月20日(金)
午前11時~12時
場所：管理棟 7階大会議室
講師：大阪府茨木警察署交通課

《4月~11月・累月》

	種類	数量(トン)	前年比(%)	金額(千円)	前年比(%)
青果	野菜	72,194	93.4	15,999,873	100.3
	果実	30,649	93.2	12,837,334	102.8
	小計	102,843	93.3	28,837,207	101.4
水産物	生鮮水産物	10,016	83.2	10,393,016	106.8
	冷凍水産物	1,449	93.3	2,051,437	107.9
	加工水産物	6,141	85.6	7,468,797	96.9
	冷凍食品	2,223	85.9	1,177,333	88.1
	小計	19,828	84.9	21,090,583	102.0
総計		122,672	91.9	49,927,790	101.7

《管理センター取りまとめ》

《11月・単月》

	種類	数量(トン)	前年比(%)	金額(千円)	前年比(%)
青果	野菜	9,332	89.1	1,875,404	92.9
	果実	4,521	89.8	1,369,040	88.2
	小計	13,852	89.3	3,244,444	90.9
水産物	生鮮水産物	1,192	79.2	1,345,647	94.0
	冷凍水産物	192	94.6	300,593	103.4
	加工水産物	814	91.4	1,224,606	113.2
	冷凍食品	254	78.9	145,861	83.9
	小計	2,452	83.9	3,016,707	101.3
総計		16,304	88.5	6,261,151	95.6

卸売業者取扱高

年末年始の対策

12月16日に協会会議室で、府と警備・清掃部門を加えて、安全部会(西田部会長)が開催されました。

管理より、防犯、車両規制、火災予防、ごみ(清掃)、エレベーター運転、駐車場のチェーン閉鎖、門の開閉、場外道路渋滞対策の各項目、さらには臨時警備員の配置について、年末年始に実施する内容の報告があり、了承されました。

詳細は12月17日の管理からの通知(年末年始における業務対策について)を参照ください。

次に、管理よりの場内の事故等発生状況が報告されました。



寄付活動

青果卸売協同組合青年会(MTMの会)は23日に茨木市社会福祉協議会へ林檎、みかん、甘藷各10ケースを寄付しました。



坂井明洋氏 岡部景紀会長

原産地表示について

食品表示は、消費者が商品を購入する際の重要な情報源であり、サプライチェーンの中間にある卸売市場においても、正しい表示は不可欠です。

今回は生鮮水産物の原産地表示についてお話しします。

◎生鮮水産物の原産地表示

生鮮食品のうち、水産物の原産地表示は、食品表示基準第18条、24条において、次のように定められています。

国産品⇨水域名又は地域名

(港名又はその都道府県名も可)

輸入品⇨原産国名

※最も養殖期間が長い「主たる養殖場」が属する都道府県名をいう

続いて協会より、歳末の安全安心啓発ポスターとあわせて来年の安全運転講習会の開催が示されました。

部長から

「事故の大半は少し注意すれば避けられたもの。改めて安全について意識してもらいたい」と話がありました。

Advertisement for a safety and security poster titled 'みんなで力を合わせて安全・安心な明るい市場'. It lists various safety rules like fire prevention, traffic safety, and waste disposal.

◎「国産品」と「輸入品」

マグロ漁などの遠洋漁業では、日本船がインド洋へ漁に出ることもあれば、外国船が日本海で漁をすることもあります。

この場合、「国産品」と「輸入品」はどのように区別しているのでしょうか。

消費者庁ホームページの「食品表示Q&A」には、次のように書かれています。

Q. 水産物で輸入品の原産国はどのような基準で判断するのですか。

A. 公海並びに本邦の排他的経済水域の海域及び外国の排他的経済水域の海域で採捕された水産物については、当該船舶が属する国が原産国である。(生鮮:30一部抜粋)

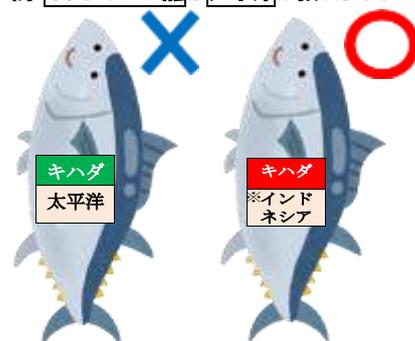
つまり、公海や排他的経済水域においては、日本船が獲ったものであれば国産品、外国船が獲ったものであれば輸入品となります。

◎船籍に注意!!

このように水産物の原産地表示では、「どこで獲れたか」はもとより「どの国の船が獲ったか」も重要です。例えば太平洋で獲れた水産物の表示をする場合、国産品(日本船籍)なら「太平洋」

と水域名表示が基本であるのに対し、輸入品(外国船籍)では水域名のみ表示は認められず、原産国名を表示する必要があります。

例:インドネシア船が太平洋で獲ったマグロ



※又は『インドネシア(太平洋)』

◎食品表示の疑問を解決

食品表示をする際には、食品表示法だけでなく様々なルールが関わってくる場合があります。

消費者庁ホームページの「食品表示Q&A」に、食品表示に関する質問・回答がまとめられています。食品表示について疑問が出てきた時は、ご覧になってみてはいかがでしょうか。



消費者庁/食品表示 Q&A

持込投棄・不法投棄には入場禁止等の行政処分、警察への通報を実施。

《最近の事案》
令和4年8月から12月で5件の同一犯による事案が発生。

目撃情報と防犯カメラにより犯人を特定し、警察へ通報(立件を視野に捜査中)するとともに、管理ターミナルにおいて**入場禁止(1週間)の法定手続き中。**

・**プラゴミ等の分別**
管理ターミナルから分別徹底の通達を发出(10)、場内事業者による分別を強化。都市部による集積場所での分別働き掛け。結果、11月単月で前年同月比665トンの改善。

・**青果くずの排出**
11月は排出量、処理費用とも対前年比約48%の減少。累計で排出量、処理費用とも対前年比約15%の減少。

大量投棄の際は、受け入れ態勢の確保及び食品ロス削減のため、事前に管理ターミナルまで連絡を！

・**木製廃棄パレット排出**
11月は対前年比で排出量、処理費用ともに約21%の減少。累計で排出量、処理費用ともに対前年比約18%の減少。

ただし、現在、1日当たり243枚の排出。

引き続き更なる削減を目指し、**外部の持ち込み禁止、利用可能なパレットの再利用を徹底!**

○**カラス対策**
12月14日現在で602羽を捕獲。捕獲籠の拡大に取組み中。

○**禁煙対策**
12月10日現在、通告書交付(違反者)は341件(うち場外は87件)。
警告書交付(再違反者)は29件↓さらに累犯で入場禁止。

○**そ族(ネズミ)等対策**
8月5日から12月14日で173匹を捕獲。

より効果的な捕獲についてアンケート調査(捕獲籠の設置数や設置場所、餌の見直し等)を実施中。

○**CSR活動、行政の福祉化**
市内授産施設によるカシの出張販売

1月13日、27日の11時半より青果仲卸棟2階休憩室で実施。

○**年末年始の業務対策**
12月16日の安全部会での決定をふまえ、対策一覧表を配付。

○**定期除草、中低木剪定**
水産、青果、管理棟周辺の緑地帯を除草(12/4〜12/25)。

■北冷からの報告

異社長から「電気代の高騰に

対応するため、府から支援を受けることも、本年9月から保管料等の5%値上げをしたが、来年度は、令和3年度に比して**7割アップ**になる見込みで、経営継続が非常に困難になる。このことから、さらなる大幅な値上げ案のほか、複数の案で関係者の意見を聴取したところ、総じて、①市場に冷蔵庫は必要、②事業形態は変えない、③多少の値上げは止むを得ないが、府によるさらなる支援は求められないか、といった意見であった。」との報告がなされた。

これについて常駐メンバーから多くの意見が出され、年明けに改めて、値上げも含めて北冷の抜本的改革について別途話し合うことになった。

○**安全部会からの報告**
西田安全部会長より、茨木警察署長を表敬訪問し、交通安全講習会への講師派遣に加えて、不法駐車や不法投棄の対応の要望を行ったとの報告があった。

○**水産物卸協同組合(榎本昭弘理事長)では、12月8日に、役員のほか管理ターミナル、卸、運送各社等が参加して、業務・施設年末対策協議会が開催されました。**

管理ターミナルから、盗難防止の巡回警備の強化、場内渋滞緩和のための交通規制など、年末年始対策の説明があり協議されました。

関係者からは「冬のポイントには防火なので特に注意を。」「大掃除でゴミが出るが、粗大が産廃か迷う場合は管理ターミナルに相談を。」「せわしない時期だけに交通ルールの遵守に留意を。」といった話がありました。

○茨木十日戎祭り

標記に係る市場に係るイベントとしては、7日に奉納、11日の9時50分頃から福娘同伴による**宝恵籠の場内練り歩き**が実施されるとの報告がなされた。

○**開場45周年記念式典**
5月8日の10時から11時に式典が挙行されるが、受賞者はその間、参加いただくよう依頼された。

水仲の年末対策

水産物卸協同組合(榎本昭弘理事長)では、12月8日に、役員のほか管理ターミナル、卸、運送各社等が参加して、業務・施設年末対策協議会が開催されました。管理ターミナルから、盗難防止の巡回警備の強化、場内渋滞緩和のための交通規制など、年末年始対策の説明があり協議されました。

関係者からは「冬のポイントは防火なので特に注意を。」「大掃除でゴミが出るが、粗大が産廃か迷う場合は管理ターミナルに相談を。」「せわしない時期だけに交通ルールの遵守に留意を。」といった話がありました。

北冷の年末お知らせ

北部冷蔵サービスマターの年末・年始の営業については左記のとおりです。引取りは、左記の営業時間内(時間厳守)でお願いします。

なお、荷役作業の安全を図るため、**冷蔵庫前の道路を閉鎖**するとともに、**マグロ以外の1階プラットフォームの通行(歩行)を禁止**します。

連絡は、FAX:072-636-3399
(内線3399)

	12月31日	1月3日	1月4日
作業	<ul style="list-style-type: none"> 宵出しは通常 朝、今出しは3時から10時まで 入庫は10時まで 	<ul style="list-style-type: none"> 12月31日までに受付けた宵出し出庫のみ 3日は0時から5時まで 	<ul style="list-style-type: none"> 12月31日までに受付けた宵出し出庫のみ 4日は3時から4時まで
オーダー	<ul style="list-style-type: none"> 1月3、4、5日の宵出しは10時まで 以後のFAXは5日の朝出し 	<ul style="list-style-type: none"> 1月5日のオーダーの受付はFAXのみ 	<ul style="list-style-type: none"> 1月5日のオーダーの受付はFAXのみ